

# 英国ライトインデム社の販売総代理店として

## デジタル保険金請求プラットフォームを推進

### グリーンリーチ

アジアでファイナンシャルサービスを提供するアジア・アフィニティ・ホールディングス傘下のグリーンリーチ㈱(東京都千代田区)は今年度から、英国のインシュアテック企業ライトインデム社の日本における販売総代理店として、火災保険や動産保険などのデジタル保険金請求プラットフォームを推進している。保険会社が同プラットフォームを導入することで、契約者はどのデバイスからでもアクセスでき、素早く簡単に保険金請求手続きができる。グリーンリーチでは、同プラットフォームを関連するサービス分野に統合して、個別の保険金請求から災害時の大規模保険金請求までをサポートするデジタル保険金請求サービスとして提供していく。

ライトインデム社が開発したデジタル保険金請求プラットフォームは、主に事故報告の自動化と事故管理ソリューションに機能が分かれている。事故報告の自動化では、損害を被った保険契約者自身がスマートフォンやタブレット、PCといったデバイスからクレーム

専用ページにアクセスし、自動化されたテキストガイドに沿って事故報告を行う。基本情報の入力、画像や動画のアップロード、報告内容の承諾といった手順を進めれば簡単に保険金請求手続きが完了し、迅速に保険金が支払われる。24時間365日対応できることか

## 端末選ばず手続きが素早く簡単に

ら、例えば保険会社の営業時間外に同ソリューションを活用して契約者を待たせないようにすることができ、一部自動化できる他、AIに対応したクレーム情報の分析やレポートの



テキストガイドに沿って事故報告

ワンロードといった機能もある。支払保険金が一額以下の請求案件(ペティクレーム)に限定して活用することもできる。日本、シンガポール、マレーシアにオフィスを構えるグリーンリーチ

は、金融サービス分野向けのデジタルテクノロジー・サービスプロバイダーで、香港に本社を置くアジア・アフィニティ・ホールディングスの子会社。アジア・アフィニティとライトインデム社が6月にパートナーシップ契約を締結したことで日本での販売やサポート業務の総代理店になった。

同社はすでに、ブロックチェーンを活用した保険契約管理プラットフォームを英国のプロバイダーと共同開発しており、ライトインデム社のデジタル保険金請求プラットフォームと組み合わせることで、費用効果が高い統合された保険プロセス管理が可能となる。現在、エンドツーエンドのデジタル保険ソリューションとして保険会社への提案を進めている。

同社では、「保険業界をめぐる急激な環境変化にはフィンテックでしか支えられないと考えており、当社が提供するテクノロジーの存在価値はこれからますます高まっていくと思っているが、一方でわれわれ自身も市場の変化にしっかりと対応する必要がある。今後も最先端の技術と情報によって保険業界を支援していければと考えている」としている。